

(様式2)

## CMS機能一覧チェックシート

以下の2つの区分で、下記記載の各CMS機能について実現可否を対応欄に記入すること。  
 ○:本業務の委託費用内で実現可能な場合  
 ×:本業務の委託費用内で不可能な場合

1. 基本要件			
			対応
基本要件	1-1	CMS利用にあたって、各職員のクライアント端末に特別なアプリケーション等をインストールすることなく、ウェブブラウザから利用できること。	
	1-2	端末台数やユーザ数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。	
	1-3	個別のID、パスワード（原則として8桁以上）を付与できること。	
	1-4	生成されるコンテンツデータ（ページ）については、XHTML1.0 Transitional以上の規格に準拠し、Web標準に配慮した文書構造を持つこと。アクセシビリティツールによる、コンテンツの音声読み上げ機能に対応していること。	
	1-5	UTF-8の文字コードに対応すること。	
	1-6	WWWサーバに公開されるファイルは静的なHTMLであること。ただし、イベントカレンダー等で動的に表示させることが望ましいページがある場合は、その限りではない。	
デザイン	1-7	サイト全体として、統一化されたページデザインとすること。	
カテゴリ分類	1-8	カテゴリ分類ごとにカテゴリトップページを作成すること。	
	1-9	コンテンツ作成時に、掲載するカテゴリ分類を容易に選択できること。なお、1つのコンテンツページについて複数のカテゴリ分類を登録できること。	
	1-10	作成済みのコンテンツページを、容易に別のカテゴリ分類に移動させられること。	
	1-11	ページごとに付与するカテゴリ分類は異なる視点に基づいた分類属性を付与できること。たとえば、会場別視点と日程別視点など異なる視点の分類に付与できること。	
	1-12	カテゴリ分類は大→中→小カテゴリといった一方通行的なものだけでなく、必要に応じて、逆引きもできるよう設定可能であること。（たとえば、「日程→イベント」といった流れだけでなく、「イベント→日程」といった流れも自動で実現できること）	

2. ページ作成機能			
			対応
基本的な仕様	2-1	作成者がHTML言語を意識することなくワープロ感覚でコンテンツを作成でき、掲載される画面をイメージできる作成画面であること。	
	2-2	Microsoft Wordと同程度のツールバー機能があり、テンプレートを選擇することで、統一したデザインのページ作成が可能なこと。	
	2-3	フォーム入力型のテンプレートも利用できること。	
	2-4	コンテンツ作成完了時、必須項目に未入力があった場合、警告を表示しスムーズに修正できること。	
	2-5	ページのレイアウト及びコンテンツはコピーして再利用ができること。	
	2-6	同じページを更新して再度公開を行う際に、以前公開していたページを前バージョンとして管理できること。バージョンの上限数は特に指定のない限りないものとし、また以前のバージョンを再利用することも可能であること。	
	2-7	コンテンツ、画像、添付ファイルのファイル名が、日本語名等のサーバ上で使用できないものである場合には警告を表示し、スムーズに修正できること。	
	2-8	作成時に操作を誤った場合、その操作の1つ前の状態に戻すことができること。	
	2-9	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。	
	2-10	検索サイトで上位にコンテンツを表示させる機能（SEO）対策として、検索用キーワードを容易に設定できること。	
他データの 流用・表の 編集	2-11	Word、Excelデータをコピー&ペーストできること。その際、アプリケーション特有のHTML（CSS）表現を自動的に削除できること。	
	2-12	Word、Excelデータから取り込んだ（もしくはコピー&ペーストした）表は、再編集できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定等が、ソースコードを直接編集することなく容易に操作できること。	
	2-13	表を新規で作成できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定等が、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。	
画像	2-14	簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。	
	2-15	CMSサーバ上に全作成者が共通で使用可能な画像の素材集を設置でき、一覧表示の中から選擇して使用できること。また、その素材集は、管理者によって追加、削除が可能なこと。	
	2-16	画像に説明やリンクをつけられること。	
	2-17	登録できる画像のファイル種別（JPEG、GIF、PNG等）を制限できること。	
	2-18	公開する画像のファイル容量又は画像サイズを制限できること。	
	2-19	制限容量を超えた画像は自動でリサイズ、又は警告を表示できること。	
	2-20	複数画像のインライン挿入（特定の座標位置ではなく、文字と文字の間に挿入）ができること。また、表示位置、表示サイズの指定が可能であること。	

添付ファイル	2-21	ページにWord、Excel、PDF等の各種文書ファイルをリンクできること。	
	2-22	リンクした文書ファイルの種類（Word、Excel、PDF等）、サイズの表記が自動で挿入されること。	
	2-23	PDFをリンクした場合、Adobe Readerのダウンロードを促す案内が、自動で挿入されること。	
	2-24	ダウンロードファイルのリンクは、任意の場所に表示できること。	
	2-25	ページからリンクする文書ファイル等の種類、容量を統一して制限できること。	
リンク	2-26	内部リンク・外部リンクを容易に設定できること。	
	2-27	内部リンクは、一覧等からリンク先を選択するだけで容易に設定できること。	
	2-28	外部リンクを設定した場合、管理者が定めた任意のルールに基づき、リンク文字列の後ろに「外部リンク」等の文言を自動挿入できること。	
	2-29	リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。	
	2-30	公開前（未承認）のページに対してリンク設定ができること。（新規に作成したコンテンツのアドレスが公開前に確認できること。）	
	2-31	ファイルの格納場所や、ファイル名が変更された場合等、リンクに関わる変更があった場合には、自動的に該当するリンクが修正されること。	
地図	2-32	GoogLeMapsなどを用いて、地図情報を提供できること。また、住所や施設名等を入力することで簡単に掲載する地図の場所を指定できること。	
	2-33	同一の地図内に、複数の施設が表示できること。また、ジャンル別や地区別に表示が可能なこと。	
動画	2-34	CMSで作成するページ内に、YouTube等の動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。	
	2-35	様々なサイズやファイル形式で動画の登録・配信が簡単に行えること。ただし、サイズの制限設定があること。	
コンテンツの公開・削除・再利用	2-36	作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時にコンテンツの自動更新ができること。	
	2-37	すでに公開されているコンテンツを未来の日付で更新する場合は、現在のコンテンツを直接編集し日時設定することで、予定の日時にコンテンツが自動更新されること。	
	2-38	各ページに公開日および最終更新日が自動的に表示されること。ただし、任意の日付に置き換えができること。	
	2-39	公開が終了したページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。	
	2-40	CMSサーバに保存されているページを一覧から選択・複写し、新規ページを作成できること。	
	2-41	公開が終了したページの一覧を表示でき、一括又は選択してCMSサーバから削除できること。	
プレビュー	2-42	ページの公開イメージを、作成後や公開前の段階で容易にプレビューできること。また、プレビュー画面からは、容易な操作で作成画面等に戻れること。	
	2-43	当該ページからリンクをたどる形で、内部リンク先のページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。	
	2-44	携帯電話・スマートフォン版ページ等、他のメディアへの表示もプレビューできること。	

3. 自動更新、自動生成機能			
			対応
新着リンク	3-1	新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示されること。	
	3-2	トップページの新着情報に表示できる件数、表示順を、管理者が任意に変更できること。	
ナビゲーション	3-3	すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。	
	3-4	各ページに、ページタイトルを自動的に引用したパンくずリストを自動生成できること。	
イベントカレンダー	3-5	各イベント情報の詳細ページにリンクが設定されたイベントカレンダーが自動生成でき、入力したイベント情報を月ごとに集約表示できること。	
	3-6	コンテンツ作成時にイベントカレンダーへの掲載の有無を容易に設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。	
カウントダウン	3-7	イベント等の開催日まであと何日といった表示ができること。また、説明を添えられ、詳細ページへのリンクが貼れること。	
4. その他の機能			
			対応
問い合わせ	4-1	問い合わせフォームを自動で挿入でき、閲覧者が意見・問い合わせ等を簡単に送信できること。	
	4-2	投稿者が送信前に入力内容を容易に確認でき、送信後に自動返信メールが送信できること。	
	4-3	投稿者からの問い合わせに対し、メールで回答できること。	
FAQ機能	4-4	テンプレートを用いて、カテゴリ別表示が可能なよくある質問 (FAQ) ページを容易に作成・更新・削除できること。	
	4-5	よくある質問 (FAQ) には、関連ページへのリンクや問い合わせ先を容易に設定できること。	
	4-6	関連ページや問い合わせ先が変更・移動・削除された場合は、自動で修正できること。	
	4-7	カテゴリによる検索、キーワードによる検索が可能であること。	
デジタル機能	4-8	PCおよびスマートフォンにて再生できるデジタルブック (ページをめくるような操作で閲覧できる、拡大縮小機能を有する) を公開できること。	
	4-9	デジタルブックは、受託者で作成すること。また、作成するデジタルブックの冊数に上限がないこと並びに追加の費用が発生しないこと。	
アクセス解析	4-10	ページごとのアクセス件数、検索キーワード等が取得できること。	
	4-11	閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが集計できること。	
	4-12	閲覧者の接続ポイント (都道府県) が集計できること。	
	4-13	解析結果は、CSVファイル等で保存・出力できること。	
スマートフォン用サイト	4-14	PCページを作成した際、同時にスマートフォン端末に対応したページも自動作成されること。	
	4-15	スマートフォンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。	
	4-16	スマートフォンの利用シーンを想定した、専用トップページを作成すること。	